

新 モリモリ書店

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

★冬の1まんまり、まだ空まひ
読書だより あつま。ぜい。どうぞ!!

第55話 R01.12.09(月)

「言葉の本質を知り、
この世を生き抜く。」

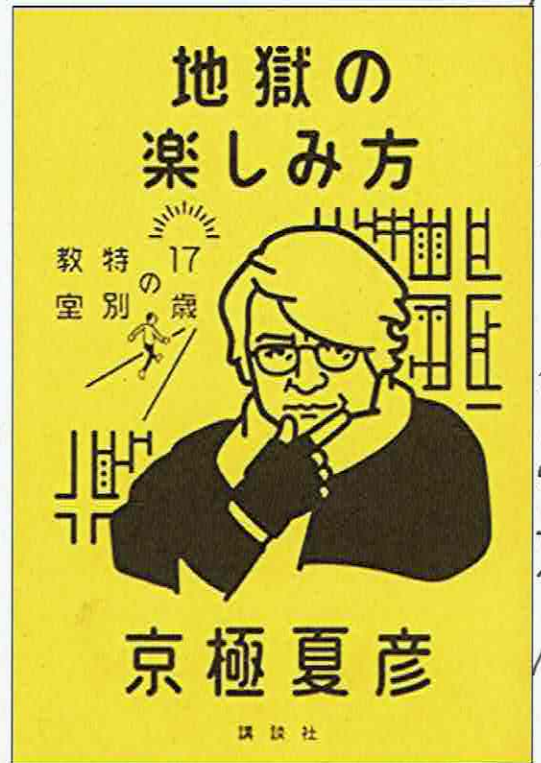
17歳の特別教室

★今回、紹介する本は、『地獄の楽しみ方』（著/京極夏彦、出版/講談社）です。

「妖怪」をからめたミステリ小説で大人気の作家である京極夏彦が、15～19歳の人を対象に行った講演を記録したものです。

タイトルが、若干、「妖怪」っぽさを漂わせていますが、この本のテーマは、ずばり、「言葉」です。みんなが日常で何気なく使っている「言葉」を入り口にして、この世の中の本質を楽しく魅力的に教えてくれる1冊（130ページぐらいで、とっても読みやすい!）。

「言葉は不完全である」、「言葉は頼りにならない」と言い切っているところがおもしろいし、だからこそ、「言葉」や「本」が非常に大切であることを語ってくれています。講演の記録なので、実際に、京極夏彦さんがライブで語ってくれているかのようで、とてもすてきです。ぜひどうぞ。



このシリーズ、どうもよいんもしれません。

『人間は、なりたいたいものになるんです。今っあなたは、あなたがなりたかったものです。』 (p.67)

『僕はこれこれこういう人間だから。本当にそうですか! 一回疑ってみましょ。』 (p.59)

自分にやがている自分なんて、案外、あてにならんもんです。

深い一冊です★

